

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 — 「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える—

開催地： グループ： C班 2024.09.29

C班 我々と生成aiとの関わり方

今まで A I はどのように使っていたか

- レポートのまとめや要約、データの整理
- プログラムのコードの生成
- 判定や採点
- 疑問の解決
- 画像処理

- レポートのまとめや要約、データの整理
→日本語がおかしくなったりする
- プログラムのコードの生成
→エラーが発生するようなプログラムを作ることがある
- 判定や採点
→A I による判断ミス
- 疑問の解決
→誤解や偏見を生んでしまうことがある
- 画像処理
→必要なところまで消してしまう

誤情報を超えるためには

- 人間が育つこと

 - ネットリテラシーを身に着ける

 - AIを盲信しない

- AIが育つこと

 - 誤情報をあえて学習させる

 - AIでAIをチェックする

- 実際に試すこと

 - 行うことが難しいことを仮想空間でシミュレーションする

AIと人間が
身近な社会
が必要！！

そのために....

情報の授業に積極的に
生成AIをとりいれる

生成 A I 教室を行う

- 小中学生や高齢者に向けて高校生が行う
- 高校生同士の交流

生成 A I を用いて創作する大会を開く

AIと人間が
身近な社会
が必要！！